

令和8年4月24日

ふくしまスカイパークで大学生設計のロケットエンジン燃焼実験を実施 ～ 東北大学ロケット製作・打上サークル FROM THE EARTH×福島市 連携事業 ～

東北大学のロケット製作・打上サークル FROM THE EARTH が自分たちで設計したロケットエンジンの燃焼実験を行います。今回学生が設計したロケットエンジンをふくしま創星塾^{※1}のメンバーが協力して製造するなど学生のチャレンジを応援するとともに、ふくしまスカイパークを航空宇宙関連の実証実験の場(スカイスペースチャレンジフィールド)として活用する本市初の試みです。この連携事業を契機に市航空宇宙関連産業スカイスペースプロジェクト(別添参考資料を参照)の取組を強化してまいります。

記

1 日 時 令和8年5月2日(土)8時30分～16時30分ごろまで(雨天決行)
(タイムスケジュール)

- ・8:30～12:30 実験の準備
- ・**12:30～12:45 点火実験(1回目)【取材対応可】**
- ・12:45～14:30 実験データ確認・次回の準備
- ・14:30～14:45 点火実験(2回目)
- ・14:45～15:15 実験データ確認
- ・15:15～16:30 撤収作業

※時間は目安です。当日の状況により前後する場合があります。

※上記の通り、取材が可能なのは原則1回目の点火実験時となります。

点火前に実験内容の説明を行い、実験後15分ほど空けて質疑も含めた取材対応を行う予定です。なお、取材は事前申込制とします。詳細は別紙【メディア・見学者向け】当日の注意事項の遵守についてをご覧ください。

2 実施場所 ふくしまスカイパーク第二駐車場(大笹生字芋畑169-1)

3 実施内容 ・東北大学の学生が設計し、ふくしま創星塾が協力し、製作したロケットエンジンの燃焼実験(計2回実施予定)を行います。
・燃焼実験は地上にエンジンを固定し、挙動や推力等を確認します。
・学生が設計値と燃焼後のデータを比較し、誤差を検証します。

4 その他 ・当日は、東北大学の学生20名程度が来福し、実験を行います。
・ふくしま創星塾メンバーも会場に集まり、燃焼実験を通じた東北大学生×地場企業の交流を図ります。
・取材される場合は安全確保の観点からヘルメット着用が必要です。
各自持参をお願いします。

※1 ふくしま創星塾は、市航空宇宙関連産業推進事業スカイスペースプロジェクトの取組をきっかけに、航空宇宙関連産業に興味を持った地場企業等が主体的に立ち上げた民間の団体。現在、市内外を含め15名程度のメンバーとなっており、定期的に勉強会や情報交換を行っている。市はふくしま創星塾の求めに応じて、情報提供や航空宇宙関係者等の交流する場の設定など伴走支援を行っている。

担当: 産業雇用政策課 産業政策係
課長 熊坂、係長 鈴木
電話 024-515-7746(直通)

5/2 ロケットエンジン燃焼実験 当日の注意事項

下記の内容をご理解の上、燃焼実験当日の対応をいたしますので、よろしくお願いいたします。

1. 点火実験の画像・映像の撮影

立入制限： 点火時は安全確保のため、エンジンから半径 70m 以内（保安区域）は無人的となります。

機材設置： 無人の状態カメラを区域内に事前設置することは可能です。万が一の衝撃や事故等で機材に破損が生じた場合の責任は負いかねます。

撮影範囲の指定： エンジン付近には、映像での公開を禁止している物品があります。そのため撮影の際には、撮影範囲を指定させていただく場合があります。

映像提供： 当日、東北大学 FROM THE EARTH のスマートフォンを至近距離に設置し撮影を行います。その映像をメディアの皆様へ共有することは可能です。

2. 取材対応について

取材は事前申込制とします。福島市商工観光部産業雇用政策課（024-515-7746）へ 5 月 1 日（金）正午までに電話でお申し込みください。また、申し込み後、取材当日までに安全講習ビデオを必ずご視聴ください。視聴の有無について、現地で確認させていただきます。

●安全講習ビデオURL <https://youtu.be/fIRF1CoKG08>

(1) 対応者

- ・団体代表：玉井航平
- ・推進系責任者：佐々木奏音（地上設備・実験進行担当）
- ・実験代表：竹下侑哉（エンジン設計・製作担当）

(2) 実験前の取材

- ・実験前の説明は、安全管理と作業効率の観点からエンジンから 70m 離れた本部（点火点）で 1～2 分程度の簡易な説明となります。

※「エンジンの実物前での詳しい説明」が必要な場合は、点火の 20 分前までに集合していただき説明を行います。希望される場合は取材申し込みの際にあわせてお申し出ください。

(3) 点火後の取材

- ・点火終了後は「安全確認」「データの初期解析」「次の方針決定」を最優先で行うため、取材開始まで 15 分ほど時間をいただきます。
- ・2 回目の実験実施可否は 1 回目の結果に基づきその場で判断。1 回目の結果次第では、実施を見送る可能性もあります。実施する場合でも準備に約 2 時間の待機時間を要します。
- ・2 回目の実験実施が不透明であるため、メディアの皆様には「1 回目のみ」を原則とし、取材対応を行います。2 回目も取材したい希望があれば、現地で市職員にご相談ください。1 回目と同様に対応いたします。

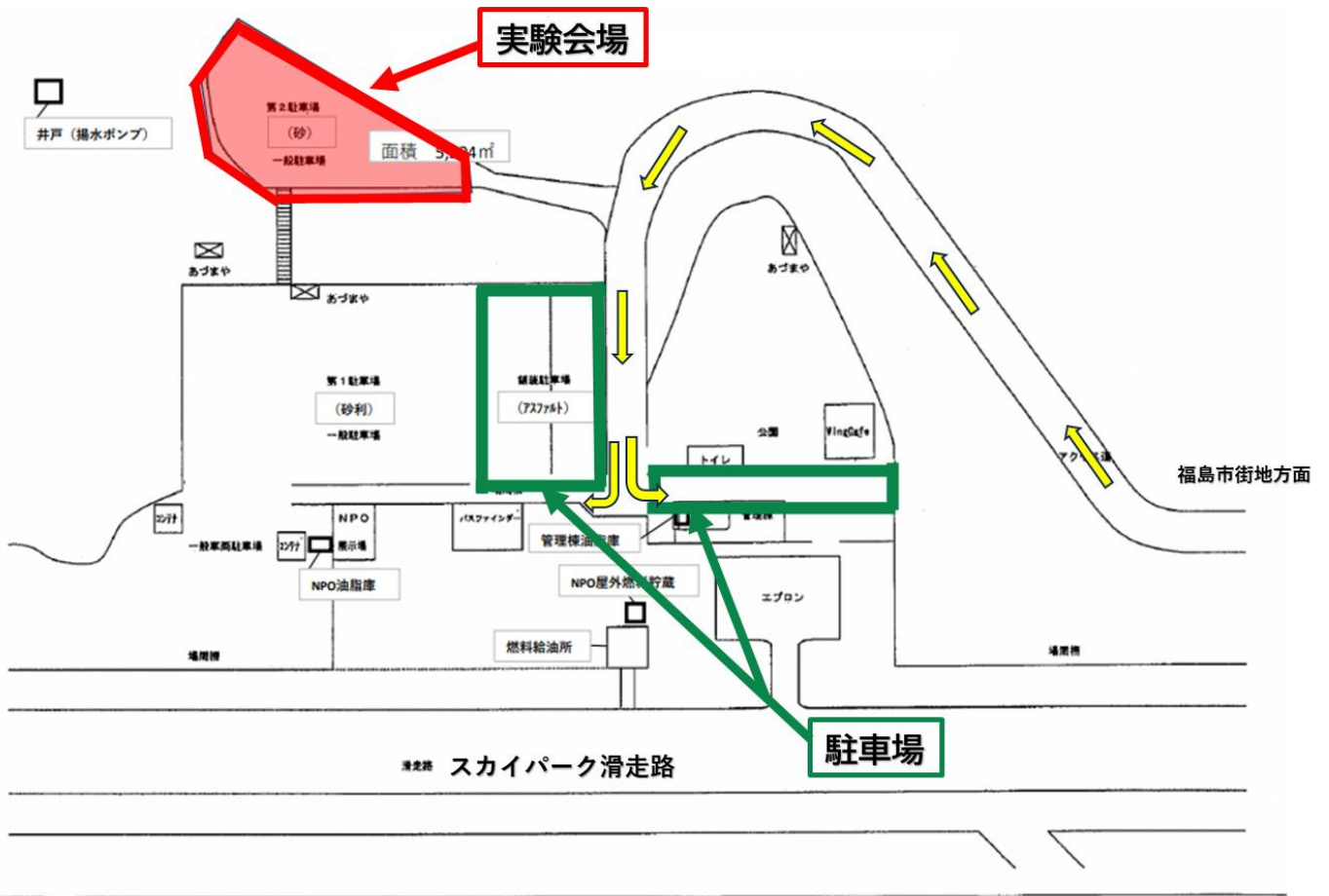
3. ヘルメットの持参・着用について

- ・安全確保のため、点火の際はメディアの皆様も含め参加者全員のヘルメット着用が必須です。
- ・各自でヘルメットの持参をお願いします。

4. 当日の実験会場・駐車場について

別紙案内図を参照のうえ、指定された駐車場をご利用ください。
実験会場までは徒歩での移動をお願いいたします。

ふくしまスカイパーク 実験場所位置図



スカイスペースプロジェクト(福島市航空宇宙関連産業推進事業)

～人材育成×産業振興～

- 航空宇宙関連産業は製造業のなかでも技術集約的で高付加価値を生み出すことから、多くの企業や研究機関が連携し、新しいアイデアや技術開発が促進。新たなビジネスチャンスが生まれる新産業分野としてイノベーションコースト構想に基づき県や南相馬で集中的に取り組んでいる。
- 東京・米沢・仙台だけでなく航空宇宙関連産業の関連企業が多く立地する相双地区へのアクセスも良いといった地の利と、ふくしまスカイパークを拠点に、エアレース等で世界的に活躍する室屋選手との連携も図られる本市ならではの特性・強みを活かし、県や南相馬市との連携による「人材育成×産業振興」を進め、市内企業の新たな事業展開の可能性を広げる契機とする。また市内企業の新たな価値や魅力を創出し、航空宇宙という魅力的な先端分野を提示することで、若者が市内企業に目を向け、地元への就職に繋げていくことを目的とする。

ねらい

- ・既存事業の価値向上と品質強化
- ・本業の競争力強化
- ・若者の市内就職促進

優位性

- ・地場企業のものづくり技術基盤の強み
- ・エアレースパイロット室屋選手のパスファインダー社との連携

福島市の優位性

宇宙産業推進の ねらい

現状と課題

課題

- ・大都市への若者流出
- ・就職先の選択肢が少ない



スカイスペースプロジェクト(福島市航空宇宙関連産業推進事業)

福島市の航空宇宙関連産業に関するこれまでの主な取組

5/2の燃焼実験で活用！

航空宇宙関連産業の実証実験の場
スカイスペースチャレンジフィールド
@ふくしまスカイパーク

ふくしまスカイパーク

スカイスペース チャレンジフィールド

航空宇宙関連のチャレンジフィールド

スカイパークが
挑戦のフィールドになる

チャレンジ 企業募集

- 冬季利用(過酷な環境下) OK
- 福島市 全面協力 OK
- 地元企業とのマッチング OK
- ハスファインダー社との連携 OK
- 騒音 OK

※内容はご確認ください

福島市 産業雇用政策課

福島市航空宇宙関連産業推進事業
プレイベント「宇宙関連セミナー」
@7/25 福島市CBS



福島市航空宇宙関連産業推進事業
キックオフイベント
「福島からはじまる宇宙への挑戦！」
@9/25 福島市市民センター



東北大学 FROM THE EARTH / ふくしま創星塾



市産業交流フェアへブース出展（R8.1.22開催）

東北大学 FROM THE EARTHは、学生が運営するロケット製作・打上サークル。2010年12月に設立し現在メンバーは約70名。主にハイブリッドロケットやCan Sat（超小型人工衛星の模型）の製作、地域の子供たちに向けた宇宙教育ボランティアなどの社会貢献活動を実施している。

福島市とはスカイスペースプロジェクトをきっかけに交流がはじまり、今年1月開催の産業交流フェアへのブース出展、2月には福島高校SSH生徒研究発表会でポスター発表してもらうなど交流を深めている。

ふくしま創星塾は、航空宇宙関連産業推進事業スカイスペースプロジェクトの取組をきっかけに、航空宇宙関連産業に興味を持った地場企業等が主体的に立ち上げた民間の団体。現在、市内外を含め約15名のメンバーで構成。定期的に勉強会や情報交換を行っており、令和7年10月からこれまで4回の宇宙勉強会を実施。市はふくしま創星塾への情報提供や航空宇宙関係者等の交流する場の設定など伴走支援を行っている。創星塾リーダーは株NAKANO 中野朗宏氏（鉄工組合青年部）



第4回ふくしま創星塾（R8.3.23開催）JAXAを講師に迎えての宇宙勉強会

東北大学FROM THE EARTHの燃焼実験(2026.2.22)

2/22に利府で行ったハイブリッドロケットエンジン燃焼実験の動画から切り取り

【実験結果】

- ・正常な点火に初めて成功
- ・一方で、後半にかけて不規則な燃焼が見受けられ、次回の成功に向けた新たな課題も明確となった
- ・次回の実験は、当初の予定通り、ふくしまスカイパークでの実施を予定

